



GEKKAN ORIMOTO

## 月刊 織本

7

2011年7月1日 Vol.203

発行 医療法人財団 織本病院  
 印刷 〒204-0002  
 東京都清瀬市旭が丘 1-261  
 TEL 042-491-2121  
 URL <http://www.orimoto.or.jp/>  
 発行人 高木 由利



## 第48回 織本病院院内学会

理事長・院長 高木 由利



毎日しとしと雨が降りちょっと暗い気持ちになりましたりしますが、今頃になって私はある事に気付きました。梅雨の合い間のモヤモヤした薄日の日は、木々の葉が雨で洗い流され緑が輝いているのです。その葉の美しいことは例えようもありません。四季の移り変わりはどれも無駄がなく価値あることだと深く感じました。

\* \* \*

48年間続いている院内学会を今年も私は大いに楽しませてもらいました。48年間続いたということは、本院が創立59年であること、またその間にストライキがあって一時的に学会中止期間があることから考え

ると、開院して数年後から現在まで栄々と続いてきたことになるのです。当院には継続している行事がいくつかありますが、この院内学会は全職員が参加している会であり心を1つにして互いを理解し合える最良の場であると私は考えています。

院内学会は医学界の学会とは異なり、医師、看護師、技師、薬剤師、施設用度、事務など多職種の職員達が日常業務の中で考えた事や業務改善、新しい計画などを発表する会なのです。そして副学会長、佐藤浩一看護師のアイデアで座長に若い主任達が起用され新鮮な意見交換が出来たことも楽しさと活気を増しました。私は毎年学会長をしているのですが、全ての演題の発表後に1演題ずつの講評をするお役目があるのです。そのこともあり発表の内容は暗記してしまうほど真剣に聞いています。そのお蔭で1つ1つの発表から自分自身や病院の将来への展望や構想が生まれるため、私にとっては真に恵みの時なのです。

今年は教育講演、特別講演を含め12演題があり、その1題1題の発表はよくまとめ、しっかり考察され、一般の学会でそのまま発表できる演題が目立ちました。これは職員の中に“織本病院の理念”が少しず



つ浸透し、まさに組織風土がしっかりと耕されてきた証しだと感じました。

学会準備をしてくれた副学会長、発表者の皆さん、

裏方をされたスタッフ、そして出席してくれた1人1人の職員に私は心からお礼を言いたいです。本当にありがとう。

## 第48回 織本病院院内学会 一般演題 放射線に関すること

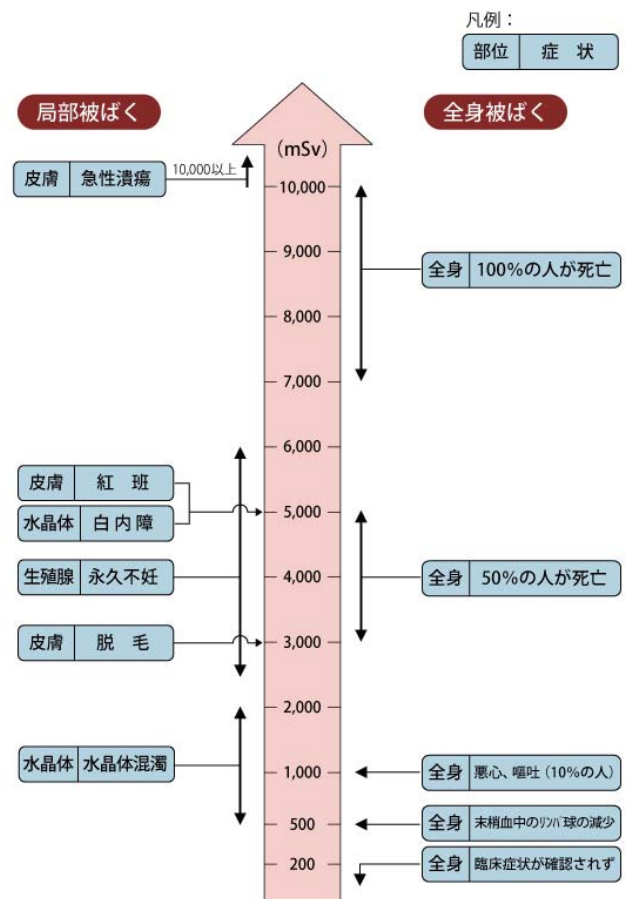
放射線科 宮下 崇



平成23年3月11日の東日本大震災以降、放射線に関する仕事をしている人以外には聞きなれない単位や単語を耳にするようになりました。診療放射線技師として、まず皆さんに伝えたいのは冷静になって頂くということです。放射能漏れという言葉は耳にしますが、放射能は放射線を出す能力のことなので漏れたりしません。漏れるとすればそれは、放射性物質あるいは放射線です。

放射線とは、電離性を有する高いエネルギーを持った電磁波や粒子線のことを指し、一般的にはこの電離放射線のことを放射線といいます。放射線には物質を電離させる性質があるため、人体に放射線が当たると細胞が損傷し正常な機能を失います。放射線が人体に悪影響を及ぼすのはこのような理由があります。放射線の影響には、確率的影響と確定的影響という2つがあります。違いは、しきい値が有るか無いかです。ここでいうしきい値とは簡単に言うとある一定の線量のことです。しきい値を超えた被ばくになると症状が現れます。しきい値がないのが確率的影響でしきい値があるのが確定的影響になります。確率的影響は“発がん”で、被ばくした線量に比例して発がんの確率は上がりますが、100～150mSv（ミリシーベルト）未満の被ばくの蓄積では発がんの確率が増すかどうかのはっきりした証拠はないと言われています。確定的影響は、局所あるいは全身がしきい値を超える被ばくをした時に症状が出ます。しきい値は部位によって異なります。200mSv以下の全身被ばくでは臨床症状は確認されていません。およそ3000mSvの局所被ばくで脱毛、5000mSvの局所被ばくで白内障、100パーセントの人が死亡するのが7000mSv以上の全身被ばくとした具合です。胎児への影響も、受精卵の死滅や胎

児奇形は最低でも100mSv以上の被ばくをしたときです。一般の方が一度にたくさん被ばくすることはないと思うので、確定的影響は除外できると思います。一般の方の放射線被ばく線量限度が年間1mSvで、これは自然放射線被ばくと医療被ばくを除いた数字です。我々は日常の生活を送っているだけで、自然放射線というものを被ばくしています。その年間の線量は、世界平均でおよそ2.4mSvになります。日本国内ではもう少し低くおよそ1.5mSvだそうです。これまで説明してきた線量は年間を除き、1



回につき被ばくした線量です。数値については専門施設や専門家により多少の違いがあります。また、テレビ等で報道されている被災地での線量は毎時というのが付いています。つまり1時間あたりの線量です。単純計算ですが、1時間あたりの線量を24倍して更に365倍すると年間の線量になります。例えば、ある地点での被ばく線量が1 $\mu$ Sv (マイクロシーベルト) とすると0.001mSvになるので24倍してさらに365倍すると8.76mSvになります。これは、1年間ずっと同じ線量の同じ場所にいたと仮定した場合です。外部被ばくについて簡単に説明しましたが、内部被ばくというものもあります。口などから体内に放射性物質を取り込み、取り込んだ放射性物質から放出された放射線により被ばくしてしまうことです。ただし、蓄積したりしますが全部がずっと体内に残るわけではなく排泄されたりします。年間の自然放射線被ばくの内訳の1つである食事からも微量ですが内部被ばくしています。

テレビや雑誌などで様々な単位や数値が出てきて、被ばくという言葉もよく耳にします。そういった報道でも、どんな種類の放射線なのか等の具体的な内容は

あまり出てきてないように思います。被ばくという意味では、ラドン温泉でも微量ですが被ばくしています。ある温泉では1時間当たり0.3 $\mu$ Svだそうです。ラドンは気体ですので吸入による内部被ばくになりますが、その温泉地で長年にわたり働く方々への悪影響は聞いたことがありません。つまり、テレビ等の報道は曖昧な部分を多く含んでいると思われるので、鵜呑みにしないで下さい。

一般の方にとって理解しやすいのかどうか疑問ですが、原発事故の被ばくと病院での検査による被ばくを比較すること自体がいかげなものかと放射線技師として思います。検査による被ばくと原発事故による被ばくは、必要か不必要かという非常に大きな違いがあります。医療被ばくは、検査内容や撮影条件、装置によって被ばく線量に違いがあります。しかし、病気や怪我を見つけるために必要な検査でがんになってしまっただけでは本末転倒です。医療被ばくというリスクは拭えませんが、検査に使用する放射線は適切に扱っていますので安心して検査を受けていただければと思います。

## 第48回 織本病院院内学会 演題

2011年6月21日 (火)

### 【一般演題】

- ◎ ゴミの分別廃棄経過報告
- ◎ 22年度人間ドック分析
- ◎ 織本病院教育委員会
- ◎ 業務改善への取り組み ～継続看護を目指して～
- ◎ BiPAPとCPAPそれぞれの主な特徴とその治療効果について
- ◎ 物品請求について
- ◎ 地下水を使用した当院での透析液清浄化の取り組み
- ◎ 新しい薬局
- ◎ 放射線に関すること

- |                   |        |
|-------------------|--------|
| 一般病棟              | 渡邊 玲子  |
| 地域医療連携室           | 織本 潤   |
| 一般病棟              | 佐藤 浩一  |
| 一般病棟              | 保科 千尋  |
| 株式会社アディック         | 濱田 国男  |
| フリップス・レスピロックス合同会社 | 高野 正義  |
| 施設用度室             | 並木 麻由美 |
| 人工透析センター          | 田中 翔   |
| 薬局                | 倉本 広幸  |
| 放射線科              | 宮下 崇   |

### 【特別講演】

- ◎ 透析患者のP・Ca代謝と副甲状腺ホルモン最新の治療プロトコール
- ◎ リスクマネジメント

- |           |        |
|-----------|--------|
| 医局長       | 栗橋 健夫  |
| 専務理事兼事務部長 | 箕輪 比呂志 |

### 【教育講演】

- ◎ 心臓治療の新しい展望・医療の功罪・私達が考えること

- |     |       |
|-----|-------|
| 副院長 | 藤木 達雄 |
|-----|-------|

# Takiyama Gospel Choir Live at Orimoto Hospital

## 滝山ゴスペルクワイヤ 織本病院ライブ

2011年7月23日(土)  
14:30 開場 15:00 開演  
オリモトホール (当院 4F)  
入場無料

ゴスペルのもともとの意味は『Good News (よい知らせ)』です。2003年に東久留米市にある滝山聖書バプテスト教会で結成されたクワイヤ“滝山ゴスペルクワイヤ”の皆さんが当院のオリモトホールで3回目のコンサートを開催して下さいます!! 癒しを求めるこの時代に、楽しくて心に迫ってくるゴスペルミュージックを通じて、『よい知らせ』を聴きにいらして下さい♪



### おりじんかい 織腎会のご紹介



織腎会(織腎親友会)は、当院の腎不全外来に通院しながら食事療法に励んでいらっしゃる腎不全患者さん達が立ち上げた患者会です。どうしたらおいしい腎不全食を作れるのか、また少しでも楽しく、お互い助け合い生きていこうというのがこの会の主旨です。

当院の腎不全外来、または人工透析に通院中で腎不全の食事療法をされている方ならどなたでもご参加いただけます。

会員の皆さんはとても気さくな方ばかりですので、一度見学してみたいかがですか?

食事療法のコツが満載ですよ!!

#### — 次回開催のご案内 —

2011年8月22日(月) 13:00 ~  
織本病院調理実習室 (地下1階)  
参加費: 材料費のみ  
お問合せ: 織本病院栄養科 重野

## 第123回 腎疾患ゼミナール

### 『あなたと私と腎不全 ⑤』 腎臓内科: 高木由利

～腎不全の食事療法のからくり～

何でもかんでも制限すればいいって本当? ②～

栄養科からのワンポイントアドバイス

### 『でんぷん生パスタを使って トマトの冷製パスタを作ろう!!』

レシピ・  
試食付

管理栄養士: 重野 隆幸

どなたでもご参加頂けます。皆様ぜひお越しください。

日時: 2011年7月28日(木)  
午後1:00 ~  
会場: オリモトホール(当院4F)  
参加費: 無料



#### — 2011年 腎疾患ゼミナール 後期日程 —

【ワンポイントアドバイス】

- 第124回 8月18日(木) リハビリテーションセンター
- 第125回 9月8日(木) 栄養科(レシピ・試食付き)
- 第126回 10月13日(木) 薬局
- 第127回 11月17日(木) 栄養科(レシピ・試食付き)
- 第128回 12月1日(木) 特別企画『レストラン・ユリ』